

二十一年二月二十二日

郵局
中華民國二十一年二月二十二日
第十...



二〇二二南西空襲戰聞詩報

W.D.C.#
100280

RS 95398
Cincpac-Cincpoa
B- 27764
OKINAWA 24 JULY

23984

陸軍基地第三十七大隊

二〇一 二 南西 空襲 戰闘詳報目次

第一 戰闘前ニ於ケル敵我形勢ノ概要

第二 戰闘ニ影響セリ及ビタル要點、地形及住民地ノ狀態

第三 彼我兵士交戦セシ敵圍張將帥氏名編隊裝備書實戰法

第四 各時期ニ於ケル戰闘經過

第五 戰闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

第六 將士ノ參考トナルヘシ事項

附表 第一 戰闘参加人員編制(職責)表

第二 死傷表

第三 鹵獲表

第四 兵器彈藥損耗表

附圖 戰闘經過要圖

二〇一ニ二南西空襲戦闘詳報

第一 戦闘前ニ於ケル彼方形勢ノ概要

級

(一) 敵米第三八機動部隊、台湾及南西諸島地区ニ對スル空襲、
圖シマリ 尚B29スハB24一機ヲ以テ南西諸島全島ニ亘リ連日
襲撃察シアリテ殊ニB24ニ於テ、其行動執拗ニシテ對空火器
ナキ港灣航行ヤ、船舶ニ對シテハ超低空ニ侵襲ス

(二) 敵潜水艦、出沒狀況ハ沖縄本島周辺ニ於テ著シク南西諸島並
襲撃算愈々顯著ナリ

★ 大隊ノ國上防衛シテ十一月六日沖縄本島ニ上陸シ爾後島尻那覇ハ
砲原空軍ニ沿ヒ連日連夜陣地構築作業ニ邁進シマリ

第二 戦闘ニ影響ヲ及ボシタル氣象地形及住民地ノ状態

天候 氣象

一月二二日、早朝ヨリ晴天ニシテ視界廣闊ナルトモ晝間ニ於ケル

燦々タル陽光、敵機ノ高度ニシテ太陽ノ背アル來襲ハ其ノ
 見困難ニシテ對空射擊部隊ノ行動亦甚シク制肘ヲ受テ
 尚微弱ナル北東ノ恒風アリタルモ敵機ノ飛行ニ支障ヲ來
 ナス空襲最速ノ氣象ニシテ海上亦平穩ナリ

日出 〇七二〇
 日没 一七二〇
 月出 〇四〇〇
 月没 二一五〇
 風向 北東
 平均風速 〇五—一四米

地形

海上警戒ノ良好ニシテ敵機ノ飛行亦容易ナリ
 然共松樹ノ蘇鉄 あり人 其他雜木林 点在シアリテ上陸ニ
 對スル遮蔽容易ナリタルモ陸地植林ノ初期ニシテ之ヲ掩匿ハ不能ナリ

住民地ノ状態

部落ハ集團的ニ多キモ雜木繁茂シアリテ上空ノ遮蔽概テ不可ナリ

然レ共木造葺屋根多ク爆彈ハ燒毀ニ對スル抵抗力ハ皆無ナリ

第三 彼我ノ兵力 交戦セシ敵ノ團隊號、將帥ノ氏名、編成裝備

素質、戦法

彼我ノ兵力、交戦セシ敵ノ團隊號

彼

第三十八機動部隊(隊列不詳)

油總本島ニ來襲セル延機數ハ七。機(我)ヲ防衛取仕地區ニ

來襲セルモ一三五機ナリ

我

海上延運基點第三十六隊長 有働少佐外七五六名

將帥の心算は、不詳

素直

戰術 戰術指導の概を確実ニシテ訓練並ニ敢闘精神見ルヘキモアリ

戰法

大編隊ヲ以テ一隊ニ來襲スルコトハ、遠方或ハ高々度ヲ以テ偵察
ヲ交分偵察施シタル後、各編隊毎ニ分散進入シ飛行場其他
施設ニ不意急襲ニ行ヒ制空權ヲ獲得シタル後全面ニ亘
壓倒的ニ波狀來襲ス

爆撃機施中ト雖モ、各編隊交互ニ監視ヲ實施シマルモ、如
一機隊ヲ終ラセルヤ、母艦ニ歸艦シ補給ト攻撃ヲ行ハザラズ
襲撃ノ外機カ地上火器ノ損害ニ減少スヘク、高々度ヲ飛行
多ク、急降ノ爆撃ハ制空權ヲ得ルニテ見ルヘキモアリ

而テ空襲要領ハ攻战的戰術ヲ採リ其來襲状況左ノ如シ

- 第一波 一六五〇 一〇〇機
- 第二波 一八三〇 五〇機
- 第三波 一一一〇 一五〇機
- 第四波 一二五〇 一一〇機
- 第五波 一三三五 六〇機
- 第六波 一四五〇 八〇機
- 第七波 一五〇〇 一〇〇機
- 第八波 一七〇〇 五〇機

第四 各時期ニ於ケル戦闘經過

大隊ハ連日、夜間ハ注進機與作業中ナルモ一部ヲ以テ戦闘準備對
空監視ニ専ラシメテアリ

一月二十二日、二日機ヨリナル編隊ヲ以テ東ヨリ北隴本島ニ侵入シ先全
飛行場一部ヲ以テ破壊シ對シ銃臺ヲ閉セヌ

當呼... 對... 本... 直... 各... 隊...

... 對... 隊... 離... 進...

... 隊... 離... 進...

... 隊... 離... 進...

... 隊... 離... 進...

此ノ頭上... 敵機ハ未陽...

日八日... 左... 電報...

一 日六... 令... 警報...

三 敵機... 射隊... 進...

日九日... 船... 離... 離... 離...

一 敵機... 射隊... 進...

一 敵機... 射隊... 進...

當陣大隊長ハ我前隊ヲ見テ本隊ヲ召集シテ
對シテ走脱シテ命ス

一 各隊ハ陣數ニ應ジテ戰シ共ニ對テ海軍部隊ヲ降シ退

避ケ退却スルコト
前記命令ニ應ジテ各隊ハ陣數ニ應ジテ戰シ共ニ對テ海軍部隊ヲ降シ退
避ケ退却スルコト

日軍ハ對テ二部ハ六機部隊ヲ以テ中隊ヲ上ニ侵入與テ有連ニ急
降下シ發射中ノ山形船ニ對シ銃專ヲ如ヘリ

日軍ハ對テ十機部隊ヲ以テ即前飛行場ヲ銃爆專セルモノヲ如ヘリ
手技方面ノ地上兵器ノ砲聲蓋シテ高シ次第ニ激烈ヲ極メテ

日軍ハ對テ八機部隊ヨリナル敵機ハ我軍前隊ニ侵入シ我地上
部隊ニ對シ機射ヲ開始シ未レハ大車少尉ヲ指差セル者機射ニ村瀬少
尉ヲ殺害シ村瀬少尉ハ各隊編成ノ小隊射專部隊ハ一齊ニ射專

日軍ハ對テ二部ハ六機部隊ヲ以テ中隊ヲ上ニ侵入與テ有連ニ急
降下シ發射中ノ山形船ニ對シ銃專ヲ如ヘリ
日軍ハ對テ十機部隊ヲ以テ即前飛行場ヲ銃爆專セルモノヲ如ヘリ
手技方面ノ地上兵器ノ砲聲蓋シテ高シ次第ニ激烈ヲ極メテ
日軍ハ對テ八機部隊ヨリナル敵機ハ我軍前隊ニ侵入シ我地上
部隊ニ對シ機射ヲ開始シ未レハ大車少尉ヲ指差セル者機射ニ村瀬少
尉ヲ殺害シ村瀬少尉ハ各隊編成ノ小隊射專部隊ハ一齊ニ射專

一 日大三〇分空襲警報發令

沖繩本島地區

二 第三十三軍司令部

三 航空機部隊近接ニ依ル

本隊長ハ當ニ上陸ヲ監視スルト共ニ部隊ヲ速急偵察ニ充テテ
日軍ハ對テ六機部隊ヲ以テ再ニ中隊ヲ二層ニ侵入シ大發山形船ニ對シ機
射ヲ開始シ如ク時ニ大發山形船ニ三機ヲ先登ラセ
日軍ハ對テ八機部隊ヨリナル敵機ハ我軍前隊ニ侵入シ我地上
部隊ニ對シ機射ヲ開始シ未レハ大車少尉ヲ指差セル者機射ニ村瀬少
尉ヲ殺害シ村瀬少尉ハ各隊編成ノ小隊射專部隊ハ一齊ニ射專

一 敵機ニ對テ機射ヲ開始スル
二 敵機ニ對テ機射ヲ開始スル

空襲状況
連綿攻撃
現在送別明セル損害並ニ戦果

輸送船一 機帆船四 各飛行
戦死一一名 毒墜五機

同時刻那覇附近爆音 地上夜声共ニ甚シク燃

一〇一〇 東方及東北方ニ於テ爆音盛ナリ

一〇〇〇 二十数機東北方ヨリ再ニ未幾奥那石

對シ盛ニ急降下銃番ヲ行ヒアリタリシカ一〇

馬トト見リ炎上ス

一一三〇頃ハ機田ヨリ侵入シ未リ 我機聞

返セシルモ一一五〇頃四機ニ成ル敵機、

急四標ニ銃爆毒シ未リ 高止給前ニ四發

計、受テ壯烈ナル戦死、逐々時一一五ニ合

大隊長、即時命令受領者ニ集テ左記命令

大隊ハ對空部隊ト最少人員ニ残置シテ

各隊ニ重要書類運轉行ハ爆音ニ注意シ

一四〇頃ヨリ連綿的ニ十数回加那市ニ對シ

砲火共熾烈ヲ極ム一五五〇頃一時靜寂ト

一七一一〇米内外ヲ以テ拖回シマリ

二。一一三〇南西空襲戦開送米園町圍

第五 戦開後ニ於ル敵機攻撃ノ概要

一。一一三〇頃南西空襲戦開送米園町圍

空襲本隊... 八時三十分空襲機
全機待機... 敵機部隊...
敵機部隊... 敵機部隊...
敵機部隊... 敵機部隊...

戦死二名... 三機

同時刻那爾附近爆音... 敵機部隊...
一〇一〇東方及東北... 敵機部隊...
一〇一〇二十枚機東... 敵機部隊...
對シ盛ニ急降下... 敵機部隊...
馬... 敵機部隊...
一三三〇東方... 敵機部隊...
運ヤリ... 敵機部隊...
舎四標ニ銃撃... 敵機部隊...

池田福二兩上... 敵機部隊...
訓。受テ... 敵機部隊...
大隊長... 敵機部隊...
大隊... 敵機部隊...
全隊... 敵機部隊...
二四〇〇頃... 敵機部隊...
砲火其熾烈... 敵機部隊...
七七一... 敵機部隊...

二〇一二西南空襲戦闘經過要圖附圖...
第五 戦闘後ニ於ケル我形勢ノ概要

二月二十二日早朝... 敵機部隊...
地上部隊... 敵機部隊...
地上部隊... 敵機部隊...

附表

第一 戰傷死亡馬傷人員表

第二 死傷表

第三 齒獲表

第四 兵器彈藥損耗表

附圖

一 二 三 南西空襲致關莊之圖

一月二十二日海上空襲基地第二十七大隊等之職員表 附圖三調製

隊區	小隊	長	以	下	兵計其他
	職	官	長	官	
大隊	長	少佐	有傷者	無傷者	

圖 零 造 徑 解 義 兼 生 西 南 三 石

